



神奈川県における保健師人材確保の取組み 市町村専門職（保健師）派遣



神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課

副課長 統括保健師 小野 聡枝



神奈川県

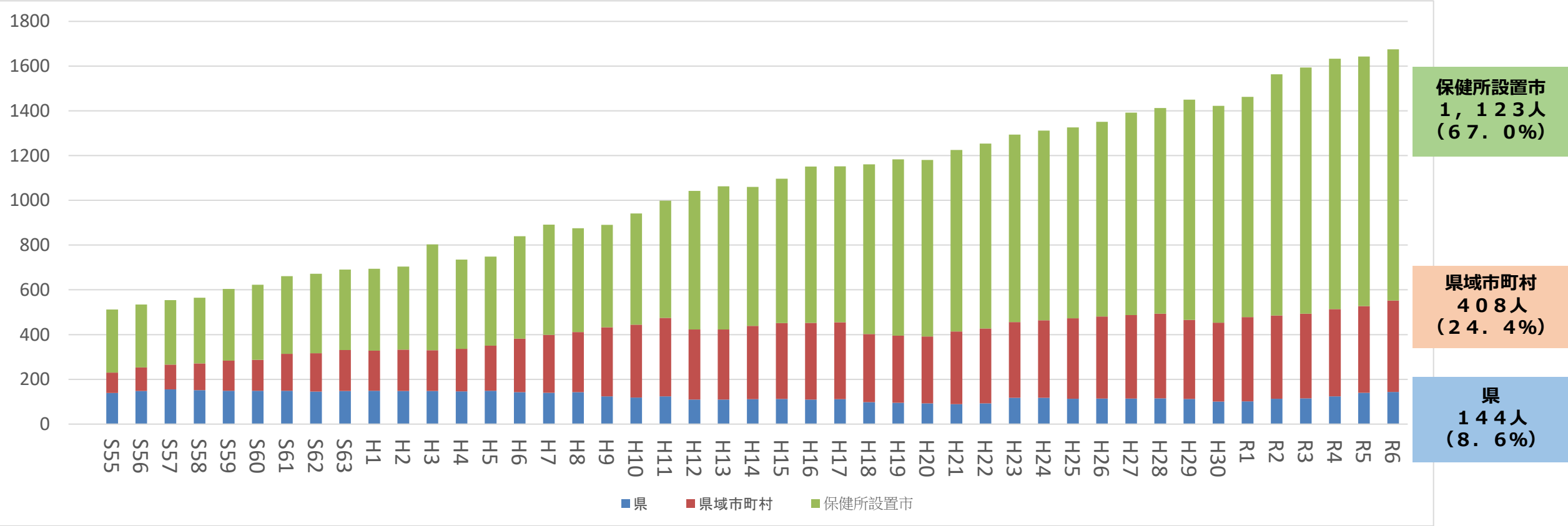
神奈川県
人口9,222,326人
(2024年12月)

33市町村
(政令指定都市3市 中核市1市 その他政令市2市 13市13町1村)



神奈川県自治体保健師数の動向

令和6年度
1, 675人



昭和55年度～令和5年度は県健康増進課調べ
令和6年度以降は保健師活動領域調査常勤保健師数（他の団体・自治体への出向等は含まない。県より市町村派遣は県都市町村保健師数に含まれる）

都道府県別にみた常勤保健師数

県内の自治体の保健師数は、**全国最下位**

| | 常勤保健師数 | 人口10万対 | | | |
|------|--------|--------|----|---------|-----------|
| | | 総数 | 順位 | 政令市・特別区 | 政令市・特別区以外 |
| 全国 | 28,560 | 22.8 | — | 14.5 | 30.6 |
| 神奈川県 | 1,202 | 13.0 | 47 | 11.4 | 18.5 |
| 東京都 | 1,857 | 13.4 | 46 | 12.7 | 15.6 |
| 埼玉県 | 1,185 | 16.1 | 45 | 13.4 | 17.5 |
| 愛知県 | 1,280 | 17.0 | 44 | 12.5 | 21.8 |
| 千葉県 | 1,090 | 17.3 | 43 | 12.7 | 19.5 |
| 福岡県 | 1,040 | 20.4 | 42 | 13.9 | 28.3 |
| 兵庫県 | 1,120 | 20.5 | 41 | 16.6 | 26.5 |

神奈川県市町村専門職員派遣の概要について

【概要】

- 人口減少・少子高齢化が進展する中、県内市町村において専門人材の確保が困難となっていることから、「持続可能な行政サービスの提供に向けた取組」の一環として、市町村の要望に応じて、県から職員を派遣する取組。
(令和2年度開始)
- 本制度は、地方自治法第2条第3項・第5項の趣旨を踏まえた補完的な取組(※)であるため、派遣先は、地方自治の本旨に基づき、派遣終了後を見据え、より一層自ら職員の確保、育成に努めるものとする。
※ 単に職員を補充するだけの取組ではなく、将来にわたり行政サービスを持続的に提供していくために市町村自身が人材を確保・育成できるよう、時限的措置として県が人的支援する取組。

【対象】

- 特にニーズの大きい保健師・土木職の片側派遣を対象 ※ 原則職務経験3年以上の職員を派遣

【派遣期間】

- **原則10年** ※ 派遣職員は原則2年ごとに交代

【派遣人数】

- 1年に保健師2人、土木職1～2人程度の派遣を想定(県の採用状況や社会情勢、派遣開始後の実績から想定)
※ 多数の派遣希望があった場合、客観的指標を用いて優先順位を決定したうえで概ね4～5年で平準化して派遣

【派遣先市町村の優先順位決定方法】

- 職員数、地域手当支給率、財政力指数等を踏まえて優先順位を設定(より状況の厳しい市町村優先)
※ 本制度での派遣回数が少ない市町村を優先するほか、派遣開始前々年度の派遣希望職種の採用活動も勘案。

【費用負担】

- 給与等の費用は、派遣先の市町村が負担 (単年度分を負担金として、出納整理期間中に納付)

市町村専門職（保健師）派遣の派遣状況

| | 人口 | 常勤保健師数 | 統括保健師 | R2 年度 | R3 年度 | R4 年度 | R5 年度 | R6 年度 | R7 年度 | R8 年度 | R9 年度 | R10 年度 | R11 年度 | R12 年度 | R13 年度 | R14 年度 | R15 年度 |
|-----|--------|--------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 山北町 | 9,381 | 3 | 有 | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ | | | | |
| 真鶴町 | 6,676 | 5 | 無 | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ | | | | |
| 松田町 | 10,277 | 7 | 有 | | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ | | | |
| 大磯町 | 30,954 | 7 | 無 | | | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ | | |
| 開成町 | 18,797 | 9 | 有 | | | | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ | |
| 清川村 | 2,886 | 3 | 有 | | | | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ | |
| 箱根町 | 10,866 | 6 | 有 | | | | | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ |
| 計 | | | | 2 | 3 | 4 | 6 | 7 | | | | | | | | | |



専門職派遣（保健師）に係る派遣先面談（ヒアリング）

| メンバー | 前期（令和6年6月）ヒアリング | | 後期（令和7年1月）ヒアリング | |
|--|---|--|--|---|
| | 状況 | 県助言等 | 状況 | 県助言等 |
| <県> 市町村課 健康増進課 （統括保健師、 <u>保健師人材育成マネージャー※</u> ） 保健福祉事務所・センター （地域統括保健師） <市町村> 総務・人事担当課、派遣保健師配属部署、 （保健師主管課統括保健師） | ○採用募集しても 応募がない 。内定しても辞退されることが多い。 ○ 離職がある 。 ○専門職のキャリア形成のイメージがない。 ○ 業務マニュアル、引き継ぎがない 。 ○ 庁内保健師連絡会等ができていない 。 ○研修参加は個人任せになっている。 | <市町村課> ○本取組の趣旨を再認識し、人材確保に取り組んでほしい。 ○専門職は人工としてではなく、免許資格者として専門性を発揮することが、モチベーションにつながる。 ○始業前後にミーティングや清掃があると聞いた。時間内に収める等の改善は必要。 ○個人情報管理徹底や引継ぎ体制等がしっかり出来ている自治体は人が定着する可能性も高い。 環境・体制整備は優先順位を高くして改善してほしい 。 ○時差出勤、カムバック制度などの 多様な働き方の制度も整えることが必要 。 | ○ 県保健所の主導で、管内市町村合同の人材育成ガイドラインを作成した 。 ○ 統括保健師を配置した 。 ○採用募集について、保健師ナビの掲載をした。合同就職説明会の 町PRに事務職の課長も参加した 。 ○勤務環境の改善がすすんでいない。 ○県・市町村統括保健師連絡会に欠席している。 | <市町村課> ○採用活動の停滞や勤務環境の改善が見られない町村もある。 ○市町村間での共同採用などの広域連携手法も視野に入れて引き続き人材確保にしっかり取り組んでほしい。 |
| | | <健康増進課> ○ 統括保健師配置、プリセプター制度、人材育成ガイドラインがあるなどが確保の売りになる 。 ○採用募集の周知は、町村HPだけではなく、 神奈川県保健師ナビ※や、採用リーフレット※、合同就職・仕事説明会※等を活用してほしい 。 ○ 保健師修学資金事業※ を採用活動に活用してほしい。 ○ インターンシップも有効な確保につながる 。 ○ ジョブローテーションの考え方は重要である 。 ○研修受講は人材育成の観点で計画的にすすめてほしい。 | | <健康増進課> ○3月の合同就職説明会に参加いただきたい。 来年度採用募集の予定がなくても自治体PRは大切である 。 ○県・市町村統括保健師連絡会に参加いただきたい。 |

※保健師人材育成マネージャーの設置

令和6年度より、**役職定年制保健師2名を健康増進課に配置。**
「保健師人材育成マネージャー」の呼称のもと、統括・地域統括保健師と連携し、保健師の人材育成を組織横断的に行う。

1 保健師人材育成体制整備

研修体系の見直し・構築、新規研修立ち上げ（経験者採用フォローアップ研修、中堅後期研修等）

2 市町村派遣保健師支援

派遣先市町面談（市町村課と連携）、市町村派遣保健師連絡会、現場で技術支援

3 経験者採用保健師の支援（フォローアップ研修）

4 統括保健師の支援（相談等の助言、県庁保健師のキャリアラダー面談）

5 地域統括保健師の支援（ヒアリング、相談等の助言）

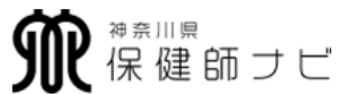
6 健康危機対策業務（能登半島地震災害派遣保健師活動報告書の作成）

7 母子保健事業の企画・進行管理等の伴走支援

8 保健師人材確保・育成に係るデータ分析・資料作成

神奈川県 保健師ナビ

神奈川県の保健師として、働きたいと思っているあなたへ



ホーム

仕事内容

職員紹介

採用情報

働き方

Q&A



疾病を抱えながら地域で生活しているお子さんと、その家族を対象に、家庭訪問等の個別支援や講演会の企画等を担当しています。

保健福祉事務所に勤務（2018年度入庁）

支援しているお子さんやそのご家族が、保健師を相談者として認識してくれたり、最近の様子を報告してくださったり、相談してくださったりすると、うれしく思います。保健師として少しでも力になれたかなと思えたときや、継続的に支援しているお子さんの成長をご家族の皆様と共有し一緒に喜べるのも、保健師ならではのことでと思っています。学校で健康教育を行うことも多く、緊張しますが、話を聞いた学生さんたちがそのテーマに興味を持ってくれたとき、やりがいを感じます。また、県が推進している「未来改善」の所内のプロジェクトチームのメンバーとして、未来の普及啓発にも取り組んでおり、市町村のイベントに参加させていただく等、楽しい時間を過ごしています。



1日の流れ

8:30
メールチェック、
申し込みなど

9:30
訪問準備

10:30
家庭訪問

12:00
お昼休憩

13:00
事業打合せ

14:30
窓口対応、電話相談、
事務作業など

17:15
退勤

令和6年度下半期採用情報一覧

神奈川県
保健師ナビ

神奈川県の保健師として、働きたいと思っているあなたへ

■ 令和6年度下半期に採用募集が予定されている県内の自治体

※情報は随時、追加・変更される可能性があります。

下記以外の自治体での募集も見込めますので、詳細は各自治体HP等をご確認ください。

| 自治体 | 採用予定人数 | 募集期間 | | | | | | | |
|------|--------------|-----------|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月以降 |
| 川崎市 | 若干名 | 7/17~8/19 | | | 10/20 10/31 | | 12/19 | | |
| 茅ヶ崎市 | 若干名 | | | (通年エントリーを受け付けています) | | | | 11月下旬~12月中旬 | 2月上旬 |
| 逗子市 | 2名 (常勤職員) | | 8/28~9/17 | 9/25~10/6 10/11 | | 11月下旬 | | | |
| 海老名市 | 若干名 | 7/1~7/16 | | 9/22 | | | 12/2 | | |
| 真鶴町 | 若干名 | | | 9月上旬~下旬 | 10/20 | 11月上旬 (予定) | 11月下旬 (予定) | | |
| 湯河原町 | 未定 | | | 9月上旬 | 10/20 | 11月上旬 | 12月下旬 | | |

県内自治体の採用 情報を集約

| 先合せ関係自治体 | | | | |
|--|--|--|--|--|
| 神奈川県 神奈川県立中央図書館 館長室 043-557-3243 | 神奈川県 神奈川県立中央図書館 図書課印刷課74222 043-570-4456 | 横浜市 横浜市立中央図書館 印刷課 045-671-1347 | 川崎市 川崎市立中央図書館 印刷課 044-200-3343 | 相模原市 相模原市立中央図書館 印刷課 042-767-5320 |
| 横浜国立大学 図書館 046-822-9853 | 平塚市 平塚市立中央図書館 印刷課 046-315-7652 | 鎌倉市 鎌倉市立中央図書館 印刷課 0467-23-9000 | 藤沢市 藤沢市立中央図書館 印刷課 0461-50-1543 | 小田原市 小田原市立中央図書館 印刷課 0465-33-1241 |
| 茅ヶ崎市 茅ヶ崎市立中央図書館 印刷課 0463-82-1111 | 逗子市 逗子市立中央図書館 印刷課 046-873-9111 | 三浦市 三浦市立中央図書館 印刷課 046-882-1111 | 秦野市 秦野市立中央図書館 印刷課 0463-82-5120 | 厚木市 厚木市立中央図書館 印刷課 046-229-2070 |
| 大和市 大和市立中央図書館 印刷課 046-260-5138 | 伊勢原市 伊勢原市立中央図書館 印刷課 0463-90-8271 | 海老名市 海老名市立中央図書館 印刷課 046-235-4502 | 厚木市 厚木市立中央図書館 印刷課 046-252-7911 | 南足柄市 南足柄市立中央図書館 印刷課 0465-71-8008 |
| 綾瀬市 綾瀬市立中央図書館 印刷課 0467-70-6627 | 葉山町 葉山町立中央図書館 印刷課 046-876-7111 | 茅渚町 茅渚町立中央図書館 印刷課 0467-76-7111 | 大磯町 大磯町立中央図書館 印刷課 0469-61-8100 | 二宮町 二宮町立中央図書館 印刷課 0463-77-3378 |
| 中井町 中井町立中央図書館 印刷課 0465-85-1111 | 大井町 大井町立中央図書館 印刷課 0465-85-7311 | 松田町 松田町立中央図書館 印刷課 0465-83-1221 | 山北町 山北町立中央図書館 印刷課 0465-75-5657 | 開成町 開成町立中央図書館 印刷課 0465-83-2331 |
| 鶴岡町 鶴岡町立中央図書館 印刷課 0463-83-9561 | 真鶴町 真鶴町立中央図書館 印刷課 0463-86-4131 | 湯河原町 湯河原町立中央図書館 印刷課 0463-83-2111 | 愛川町 愛川町立中央図書館 印刷課 046-285-2111 | 清川村 清川村立中央図書館 印刷課 046-286-1212 |

※発行：平成23年度関係自治体図書館関係協議会 平成23年度関係自治体関係協議会

行政保健師とは

保健師は、保健活動推進を図るべく公衆衛生官として、自治体や病院、企業など様々な場所で活動しています。中でも「多いのが産婦人科や市町村などの自治体で働く多職種（行政保健師）」です。

特例1月期は、県と13の市町村からなり、それぞれの自治体で保健師活動を展開しています。

勤務場所は、県庁・県庁下では、関係庁・児童福祉課・精神保健福祉センターなど、市町村では、市町村本庁・市町村保健センターなどに配置されます。また、時には、法令指定都市、中核市の一部の保健所設置局があり、それぞれ保健師が配置されているので、保健所に配置されることもあります。

能力に優れた者なら県内自治体の保健師活動を知りたいとき、ぜひ一泊二日に神奈川県内で行政保健師として働きましょ！

保健師の主な業務

保健師は、地域で暮らすすべての人が地域で安心して生活できるように、母子保健対策、生活習慣病対策、高齢者支援対策、疾病対策、感染症対策、精神保健福祉対策等、幅広い分野で活躍しています。

業務内容は、県(主に保健所に)と市町村(主に保健センター)で異なります。

保健師では、妊娠、出産前、精神保健福祉、産後の子どもの発達支援等での相談や訪問など立派な、専門的な保護サービス等の提供や、災害発生時の避難所運営への対応に加え、市町村が抱える課題と連携して活動を行います。

保健センターでは、地域住民の身近な相談窓口として、助産や健康診断、訪問、医療療育など豊富な保護サービスの提供や、国民健康調査と連携して地域のアセスメント機能に関する保護活動も実施します。

- ※保健所設置市については保健所と保健センター業務を併せて行います。
- ※異質な内容については、自治体により異なります。



赤帽警士ローリー
きびこマン

先輩保健師からのメッセージ



下池 竜郎
県保健福祉事務所周知係
(令和2年度入庁)

大学時代の看護学習で、公衆衛生の方向へ進み先生にも興味を持ち、卒業後すぐに就職しました。行政保健師の仕事内容は非常に幅広いので、健康増進や障害者の権利や、災害発生時の避難所運営などについて、その分地域規模や業務内容によって日々異なる視点や知識をもてることができると、まだ、成長したい気持ちで頑張らねえと、元気になった地域の方とお会いできたときはやりがいを感じられます。ぜひ今年にも行政保健師として働いてみてください。

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|----------------------------|------------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------|------------------|-------------|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------|-------------|
| 8:00 開庁 | 7:20 開庁 | 8:25 県庁下へ向かい、保健センターへ向かう | 8:30 始業 | 9:30 所属する部署の会議室にて、各部署の業務について話し合う | 10:30 総務部へ向かい、県民生活課へ向かう | 11:30 総務部へ向かい、県民生活課へ向かう | 12:00 昼食 | 12:30 総務部へ向かう | 13:00 開庁 | 13:30 開庁 | 14:30 県民生活課へ向かう | 15:30 県民生活課へ向かう | 16:30 県民生活課へ向かう | 17:15 退勤 | 18:00 帰宅 |
|------------|------------|----------------------------|------------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------|------------------|-------------|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------|-------------|



高橋 沙緒理
県保健福祉事務所周知係
(令和2年度入庁)

小児療養特定育成の子どもの子と家族の相談支援や、療養上の企画、療育体制の整備などを行っています。支援している子どもたちの家族から、困りごとの電話相談があったときに、私を頼ってくださったことには感謝をしています。保健師としての地域で子どもの健やかな成長を支えていくことを誇りに思っています。入庁後は、卒業生として保健師になることに不安があったけれど、経験と知識と様々な職員のサポートを得ながら、やりがいのある充実した毎日を送っています。

※県・市町村合同就職説明会・仕事説明会

2025 令和6年度
神奈川県市町村

3/14 (金)
13:00 ~ 16:00

**保健師
合同就職説明会**

対象
県内保健師養成校の学生
保健師免許を有する者
その他希望者

神奈川県職員キャリア
開発支援センター
研修ホール・研修室
横浜市中区小港4-1-2
2F(横浜美術館・美術館「新横浜」下階2Fより)

プログラム
研修ホール
研修室
103・104

神奈川県保健師についての説明
参加自治体との座談会

参加各自治体の相談ブース
*会場参加者にはオリジナルコッパンバッグのプレゼントがあります

申込期間 **12/28 ~ 2/26**
神奈川県保健師ナビ  からもお申し込みが可能です
神奈川県保健師ナビでは神奈川県の保健師の採用情報や活動紹介等の最新情報を掲載しています

お問い合わせ
お申し込み先

申込期間 **7/5 ~ 8/18**
二次元バーコードまたは
下記URLよりお申し込みください

 https://dohinseai-kanagawa.jp/g/140007-w/offer/offerList_detail?tempSeq=75810

神奈川県健康増進課健康づくりグループ
TEL: 045-210-4784

2024年度新卒生
神奈川県立保健福祉大学/城南看護学院大学

神奈川県健康増進課健康づくりグループ
2024年度新卒生
神奈川県立保健福祉大学/城南看護学院大学
TEL: 045-210-4784
申込URL: https://dohinseai-kanagawa.jp/g/140007-w/offer/offerList_detail?tempSeq=75810

令和6年度 神奈川県 市町村
保健師の仕事説明会

2024
8/26 (月)
14:00 ~ 16:30
zoomによるオンライン
参加方法の詳細は案内メールにてご案内いたします

県内の自治体で働く
先輩保健師から保健師の
仕事の実際や魅力について話を聞き
ご自身の進路を考えてみませんか

神奈川県内で保健師での就業を希望する方
保健師の仕事に興味のある看護学生

お問い合わせ
お申し込み先

申込期間 **7/5 ~ 8/18**
二次元バーコードまたは
下記URLよりお申し込みください

 https://dohinseai-kanagawa.jp/g/140007-w/offer/offerList_detail?tempSeq=75810

神奈川県健康増進課健康づくりグループ
TEL: 045-210-4784

2024年度新卒生
神奈川県立保健福祉大学/城南看護学院大学

自治体保健師の
仕事について
県内自治体のPRと事業紹介
座談会
もっと知りたい! 保健師のこと!

神奈川県保健師ナビ  からもお申し込みが可能です
神奈川県保健師ナビでは神奈川県の保健師の採用情報や
活動紹介等の最新情報を掲載しています

※保健師修学資金貸付始業制度の創設（R5年度創設）

説明会段階で入職希望者へ積極的にアピールし、**保健師の定着に活用**してください！！

対 象 50人／年
将来、県内自治体において保健師の業務に従事する者
(養成校は県内外を問わない、県内人材確保定着策)

貸付金 月額 4 万円(年額48万円)

貸付期間 2 年間

返済免除 県内自治体において従事した期間が、**5 年**に達したときは、修学資金の**返還債務を免除**

周 知

- ・全国養成校へ案内送付・電話・卒業校へ若手がアピール
- ・大学職員への説明会・学生向け説明会（オンライン）

保健師修学資金
貸付事業のご案内

全国の保健師を目指す
学生のみなさんへ！

保健師養成課程に在籍している
方で、将来神奈川県の自治体
において保健師として働く意思
がある方を対象とした修学資金
貸付事業です。

保健師養成課程に在籍中
貸付額 月額 4 万円 年額 48 万円
貸付期間 貸付決定から養成課程卒業まで（最大2年間）
※養成課程卒業後、保健師として5年以上働いている方が対象となります。
返済期間 令和5年 9/10～10/31まで
返済方法 卒業後は返済義務がなくなります。（※返済は10/31まで）

保健師養成課程卒業後
神奈川県内の自治体にお
いて保健師として5年間続
けて勤務した場合、
全額返還免除ができます。

修学資金に関すること
神奈川県健康医療部保健師養成課人材育成グループ
電話：045-210-1111（代）内線 4764
月～金（祝日を除く）8:30～12:00 / 13:00～17:15

保健師に関すること
神奈川県健康医療部保健師養成課健康づくりグループ
電話：045-210-1111（代）内線 4784
月～金（祝日を除く）8:30～12:00 / 13:00～17:15

医療課 HP
修学資金がサポート

神奈川県健康医療部保健師養成課
健康づくりグループのページ

神奈川県保健師ナビ

市町村専門職（保健師）派遣のメリット（町村側）

＜派遣先面談などから＞

- ・ 採用募集の周知等の助言を受け、採用の応募や確保につながった。
- ・ 統括保健師を配置するきっかけとなった。
- ・ 若い職員にとっては、県の職員の保健活動の経験や、職務に取り組む姿勢等が参考になる。
また、経験の長い保健師にとっても、違う視点で保健活動を考える機会となり、保健師の役割を広げ
てくれている。
- ・ 保健業務について、他自治体の実施方法や工夫点などの情報が得られる。
- ・ 県とのつながりが深まった。
- ・ 保健師の人材確保・育成について、町村内の保健師部門、人事・総務部門で課題や取組みの共有ができた。

市町村専門職（保健師）派遣のメリット（県側）①

- ・派遣保健師は、県保健師が経験できる機会が減った個別支援や地区活動を経験することができる。
- ・市町村の保健活動を経験することにより、広域自治体の役割を身をもって学ぶことができる。
- ・統括保健師や地域統括保健師が、派遣先市町村の保健師との顔の見える関係性が深まった。
更に、保健師主管課の課長や、総務・人事担当部署とも顔の見える関係となった。
- ・派遣保健師の支援や、派遣先面談等で、派遣先町村の保健師確保、育成等の課題がこれまでに以上に把握できた。その課題に対して、健康増進課や保健福祉事務所・センターが具体的に助言することや、取組みを考えることができた。
- ・市町村専門職派遣事業を通して、県の中でも、保健師確保・育成の市町村支援について、健康増進課と市町村課が連携して取組むことができた。

市町村専門職（保健師）派遣のメリット（県側）②

<派遣保健師の声（報告会などから）>

- ・ 予算から事業実施、ケースワーク等一連の流れを経験し、事業の成り立ち、流れが分かった。
- ・ 多くの個別支援をしっかりと経験したことにより、保健師としての個別支援のスキルが上がった。自信が持てた。
- ・ 個別事例を多く経験することで、個の問題から集団の課題として捉え政策に繋ぐことができ、目に見える成果を実感できた。
- ・ 県職員以外にも心強い味方ができた。この人脈は県に戻ってからでも活かされている。
- ・ 県の外に出たことで、県の良いところが分かった。
- ・ 町が県に期待すること、広域行政として県がどのような支援をしたらよいのかが分かった。

神奈川県市町村専門職員派遣の取組を取り巻く状況について

1 専門職員派遣の取組において、次の課題が顕在化している。

○ 取組開始から5年が経過し、初年度派遣は折り返し時期を迎えるが、人材確保や育成につながっていない等の状況が散見される。

○ 一部の派遣先市町村では、採用活動の停滞や勤務環境の改善が見られないといった、派遣の趣旨にそぐわない状況（※）が見受けられる。

※ 定数の関係から当該職種の採用活動を停止する、他の職種を採用することで事務職の採用数を減員する、勤務時間内に行うべきことを勤務時間前に実施する 等

2 専門人材確保・育成部会の取組において、次の課題が顕在化している。

○ 市町村/県共催の合同説明会（R4：13団体/30団体）や大学主催の合同説明会（R5：12団体/30団体）への参加が低迷。

3 官民を問わず専門人材の採用難がより一層顕在化し、近年頻発する自然災害や新興・再興感染症への対応等、県の業務も多様化する中、市町村と同様に県も計画通りの職員採用ができておらず、再任用職員のなり手不足等により県の業務遂行も厳しい状況にある。

4 地域手当の広域化や初任給月額の上上げなど、給与面等が改善方向にあり、市町村間での共同採用など広域連携手法の実践環境が整いつつある。

（参考）県職員の採用状況（令和3年度～令和6年度 県職員採用試験・選考の実施結果及び実施状況）

| | 令和3年度(R4.4.1採用) | | 令和4年度(R5.4.1採用) | | 令和5年度(R6.4.1採用) | | 令和6年度(R7.4.1採用) | |
|------|-----------------|------|-----------------|------|-----------------|------|-----------------|------|
| | 採用予定 | 採用見込 | 採用予定 | 採用見込 | 採用予定 | 採用見込 | 採用予定 | 採用見込 |
| 保健師 | 20 | 18 | 20 | 21 | 18 | 16 | 16 | 11 |
| 総合土木 | 54 | 49 | 56 | 35 | 52 | 27 | 76 | 34 |

※ 実際の採用人数は、辞退等により採用見込人数から減少

※ 令和6年度採用見込は、令和6年12月23日時点の数値

市町村専門職（保健師）派遣の課題（県側）

・派遣保健師選出の課題

◆派遣の中核となる県の中堅保健師の数が少ないことや、育児時間短縮制度を活用している人が多いことから、派遣候補となる保健師が少ない。

◆保健師派遣の希望のある市町は神奈川県西部に集中しており、通勤時間の面などから派遣できる保健師が少ない。

・ジョブローテーション2か所目で派遣となる保健師もあり、後方支援を担う健康増進課、保健福祉事務所・センター地域統括保健師に係る役割が大きくなっている。

派遣時の職位

| 技師 | 主任技師 | 主査 | 副技幹 | 計 |
|----|------|----|-----|-----|
| 8人 | 2人 | 5人 | 0人 | 15人 |

派遣時の県経験年数

| 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10～15年目 | 16年目以上 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|--------|-----|
| 3人 | 4人 | 1人 | 1人 | 3人 | 0人 | 0人 | 2人 | 1人 | 15人 |

市町村専門職（保健師）派遣者の支援

| | 時期／回数 | 内容 | 主管部署 | 県関係部署 |
|--------------------------|-----------------------|---|-------------------------|-------------------------|
| 派遣者面談 | 2回／年 | <ul style="list-style-type: none"> ・勤務状況の把握 ・派遣先の課題等の把握 | 市町村課 | |
| 市町村専門職（保健師）派遣者報告会（オンライン） | 前期（10月ごろ） 後期（3月ごろ） | <ul style="list-style-type: none"> ・派遣保健師の活動報告 | 市町村課 | 健康増進課 保健福祉事務所・センター |
| 市町村派遣保健師交流会 | 1回／年 | <ul style="list-style-type: none"> ・派遣保健師の活動報告 ・情報交換 | 健康増進課 | 保健福祉事務所・センター 地域統括保健師 |
| 保健福祉事務所保健師研修（オンライン） | 3月ごろ | <ul style="list-style-type: none"> ・市町村派遣、児童相談所、精神保健福祉センター等の活動報告 | 健康増進課 | 保健福祉事務所・センター 保健師 |
| 保健師キャリアラダー面談 | 1～2回／年 | <ul style="list-style-type: none"> ・能力育成の助言 | 保健福祉事務所・センター 地域統括保健師 | |
| 所内保健師業務連絡会 | 毎月～隔月 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換 | 保健福祉事務所・センター | |

神奈川県における保健師の人材確保の取組み

戦略的な人材確保計画の策定

- 保健師人材の養成・確保・育成に関する検討報告書（令和4年度）★**
 目指す姿、「多様化、高度化する住民のニーズや健康課題に的確に対応できるよう、本県の行政保健師数を全国平均並みに引き上げ、必要数が確保される。そして、住民の健康の保持増進や回復を図るための様々な活動を展開し、推進できる保健師の育成を目指す。
- 第8次神奈川県保健医療計画への記載 ★**
第3節 看護職員
3 指標 県内保健所及び市町村常勤保健師数
 計画策定時 1, 2 1 1 人 (R 3)
 目標値 1, 7 5 1 人 (R11)
- 令和3年度～8年度神奈川県保健師採用計画（毎年協議）
- 市町村専門職（保健師）派遣 ★
- 県・市町村統括保健師連絡会 ★
- 保健師確保・育成に係る現状把握（統計資料作成等）★
- 令和6年度厚生労働科学研究「自治体保健師の計画的・継続的な確保に関する研究」協力 ★※

<参考>



市町村と連携した取組みは朱書き★

神奈川県における保健師の人材確保の取組み

応募数の確保

- ・採用募集の周知（大学訪問）
- ・実習の受け入れ ★
- ・インターンシップ
- ・学校・養成校との連携
- ・リカレント教育（令和10年度から）※
- ・保健師採用情報案内の作成（県・市町村）★
- ・神奈川県保健師ナビ（県・市町村）★
- ・県・市町村合同就職説明会・仕事説明会（県・市町村）★
- ・保健師修学資金貸付事業★

多様な人材の確保や働き方への対応

- ・経験者採用の実施
- ・産前産後休暇・育児休業代替職員の確保 定数外配置
- ・働き続けられる職場環境（テレワークの推進等・休暇取得の促進）
- ・定年延長・再任用者の活躍促進

※ 県立保健福祉大学実践教育センターにおけるリカレント教育（予定）

1. 背景

- ・ 県内の自治体の保健師数(人口10万人対)は、全国最下位
- ・ 平成23年度までは保健師教育は大学の看護師養成課程で学んだすべての学生が履修
⇒一定数存在する潜在保健師を活用できないか

2. 目的

- ・ 実践教育センターにおけるリカレント教育の強化
（潜在保健師の活用⇒就業保健師の確保）
- ⇒県と大学で連携しながら潜在保健師発掘等の課題に取り組みつつ、県内自治体等への保健師就業の橋渡し

3. 内容（予定）

- 対象：保健師免許保有者（実務経験なし）20名程度
- 実施時期：令和10年度～（予定）
- 内容：潜在保健師に対し、地元での実習体験を含むリカレント教育を実施

神奈川県における保健師の人材確保の取組み

定着・育成の推進

- ・人材育成ガイドラインの作成・改正
- ・新任期育成ガイドラインの作成・改正
- ・キャリアラダーに応じた研修の実施 ★
- ・保健師OBによるトレーナー事業 ★
- ・大学院や長期研修、団体派遣の検討
- ・保健師人材育成マネージャー（役職定年延長者）による人材育成 ★
- ・保健福祉事務所による「管内市町保健師人材育成ガイドライン」の作成支援 ★ ※

自治体保健師の魅力発信

- ・保健師採用情報案内の作成（県・市町村）★
- ・神奈川県保健師ナビ ★
- ・県・市町村合同就職説明会・仕事説明会（県・市町村）★
- ・看護協会と県の共催 保健師魅力発見イベント

※保健福祉事務所による「管内市町保健師人材育成ガイドライン」の作成支援

足柄上地域保健師人材育成ガイドライン

<作成の背景>

小田原保健福祉事務所足柄上センターと管内1市5町の保健師が今後の保健師活動の在り方を協議した際、足柄上地域で保健師活動を展開するにあたっては保健師の「人材確保」と「人材育成」が大きな課題であることが明らかになりました。

そこで、令和5年度足柄上センター主催の地域保健師等業務連絡会議において、

- ① 各市町における「統括保健師」配置の推進
- ② 1市5町共通の「人材育成ガイドライン」の作成
- ③ 人材確保・人材育成に関する研修・会議の充実

の3点に取り組み、住民の健康を守る保健師活動の基盤づくりを推進することとなりました。

<足柄上地域保健師の目指す姿>

足柄上地域の保健師は、「共にいる～その人らしい暮らしを支える保健師～」を目指す姿として保健師活動を展開します。

足柄上地域 保健師人材育成ガイドライン



令和7年1月
南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町



ご清聴ありがとうございました



「神奈川県保健師ナビ」

